



Formula Challenge Japan

2011年6月11日

## 2011 フォーミュラチャレンジ・ジャパン Rd.5 公式予選 6月11日(土)

### 平峰一貴が2戦連続のポールポジション

フォーミュラチャレンジ・ジャパン第5戦の公式予選が6月11日(土)、富士スピードウェイで行われた。全日本F3選手権やボルシェカレラカップジャパン(PCCJ)等との併催で「ザ・ワンメイク祭 2011 FUJI」と銘打たれた今回の富士スピードウェイの大会。FCJは2日間で3レースが開催される。

公式予選は8時05分の開始予定だったが、朝から降り続く強い雨の影響からコース上はヘビーウェットの状態であり、マーシャルカーによる安全確認を行った後に予定の5分遅れ、8時10分より20分間の走行が開始された。

今回はこの20分間で第5戦のグリッドを決め、第6戦は第5戦決勝での各自のベストタイム順、第7戦は第6戦決勝のベストタイム順でのスタートとなっている。

滑りやすい上に視界も劣悪なコンディションながら、各ドライバーとも序盤から積極的にアタックを開始、タイムも2分00秒台から1分59秒台、1分58秒台と周回を重ねるごとに上がっていった。

そんな中で、終始トップ争いを展開したのは#17平峰一貴、#4平川亮、#8元嶋佑弥、#11石井一也、#9勝田貴元といった2年目、3年目のドライバー。ここに#2山田真之亮、#18清原章太らのルーキーが時折食い込んでくる。

この中で一貫して主導権を握っていたのが#17平峰だ。

#17平峰はセッション半ばに1'56.934を記録すると、その後も1分57秒代前半の安定したペースで周回を重ね、残り時間5分のところでさらにタイムを縮めて1'56.762を記録、第4戦に続いて2戦連続のポールポジションを獲得してみせた。

2番手は#4平川。#17平峰とほぼ同時に1分56秒台を記録したものの、1'56.956と僅かに及ばなかった。

3番手には1'57.217でルーキーの#2山田がつけている。

第5戦決勝は今日の午後。12時25分より12周で行われる予定になっている。



FCJに関するお問い合わせ先  
フォーミュラチャレンジ・ジャパン事務局  
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25  
株式会社日本レースプロモーション内  
電話：03-3237-0132

TOYOTA NISSAN HONDA

